

SINOPSIS

1. 序論

日本はその伝統文化で世界に広く知られており、食生活や日本人の食習慣もその一つである。日本食は今や世界で広く食されており、インドネシアでも日本食は身近なものとなっている。インドネシアに長く居住する日本人の食習慣にその変化がみられるかをインタビューを通じて探ることが本研究の目的である。対象とする日本人男性はインドネシア人配偶者を持ちインドネシア文化の強い影響下にある日本人である。

家族アプローチは機能構造理論に基づいた制度としては四つの概念から構成されている。すなわち、制度、社会構造、機能とバランスである。この理論に対しては個人や制度は主体的に機能することがなく、逆に影響され、後程人間やほかの制度に影響する。

このアプローチに関して、パーソンはAGIL (Attention 注目, Goal attainment 目標達成, Integration 統合, Latency 潜在) 図表を発表した。パーソンズはこの図表において、同化の過程において内的小および外的要因について言及している。一方、目標達成は制度目標を達するために性格制度を使用する。それ以外にも、パーソンズによると、個人の態度を三つの制度にも影響されている。すなわち社会制度、文化制度と性格制度である。

この研究に使われている分析方法は観測と聞き取りによって行われた。本研究では、状況の変化について考慮をしていない。そして、使用されているアプローチは社会学アプローチである。社会学アプローチでは性格は集団生活という状況下で影響を受ける。

2. 本論

インフォーマント（インタビュー対象者）に与える現象は、機能構造理論によると、人間は個人的に機能できず、環境の影響を受けるものとされる。ここでは2名の日本人を対象に分析を実施した。インフォーマント1と2の食習慣は子供のころに日本での家族に影響されたと見られる。

インフォーマント1の食習慣は両親が仕事で忙しく、主体的な人になった。一方、インフォーマント2の食習慣はインフォーマントの母親は毎日ずっと家で料理を作り、母親が作った料理通りに食べ、勝手に食べたい料理を決めることができなかった。

両方の食習慣はインドネシアに住み、インドネシア人と結婚するまでに継続した。妻が料理できるかどうかには非常に影響を受ける相違要素となった。インフォーマント1の妻は料理でき、一方インフォーマント2の妻は料理できない。インフォーマント1と2は食べている食品が変化した。インフォーマント1は日本でない食品、例えばテンペ、ルンダンなど。一方、インフォーマント2は現在ハラール食品しか食べない。そして、食器

の使用についても両方の手で食べられるようになった。また、食べるとき、一つのお皿にご飯もおかずもソースも一緒に入れる。このままで日本での食習慣は戻り、今まで継続された。

それより、両方の妻の宗教は、食習慣にも影響した。インフォーマント1はハラール食品が食べられ、インフォーマント2はイスラム教に改宗し、非ハラール食品が食べられなくなった。

家族制度とAGIL機能構造理論図表の理論により、インフォーマントの妻はインドネシアにいるうちに同化の進歩を手伝っていることが分かった。特にインドネシアに長く住むにつれインドネシアの食習慣と料理の紹介をした。そして、パーソンスの理論により、妻はインフォーマントの指導と態度の支配という役割になった。

3. 結論

家族制度とパーソンスAGIL機能構造図表は両インフォーマントの子供のころや大人になり、日本を離れ、結婚し、インドネシアに住むときの食習慣に影響し、家族の役割は基本となった。

機能構造理論には人間は個人的に機能できず、環境に影響を受けるものである。例えば日本での家族とパーソンスの行動制度により、インドネシアにいるうちの指導や態度の支配としての妻の役割である。

DAFTAR ISI

HALAMAN PENGESAHAN	i
HALAMAN PERNYATAAN ORISINIALITAS	ii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iii
KATA PENGANTAR	iv
DAFTAR ISI	vii
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Pembatasan Masalah.....	4
1.3 Tujuan Penelitian.....	5
1.4 Metode dan Pendekatan.....	6
1.4.1 Teknik Observasi.....	7
1.4.2 Langkah-langkah Observasi.....	8
1.4.3 Teknik Wawancara.....	10
1.5 Organisasi Penulisan.....	11
BAB II KONSEP KELUARGA DAN STRUKTURAL FUNGSIONAL	12
2.1 Masakan Jepang.....	12
2.2 Makanan Indonesia.....	13
2.3 Konsep Keluarga.....	14
2.3.1 Definisi Keluarga.....	16
2.3.2 Ciri-ciri Keluarga.....	17
2.3.3 Fungsi dan Peran Keluarga.....	18

2.4 Keluarga sebagai Sistem.....	21
2.5 Keluarga Jepang.....	22
2.6 Keluarga Indonesia.....	23
2.7 Struktural Fungsional Parsons.....	24
BAB III PERUBAHAN POLA MAKAN ORANG JEPANG DI	
PERKUMPULAN JAPAN-JAKARTA JUUDOU CLUB.....	29
3.1 Pola Makan di Jepang.....	29
3.1.1 Masa Kanak-kanak.....	32
3.1.2 Masa Remaja.....	35
3.1.3 Masa Dewasa.....	38
3.2 Pola Makan di Indonesia.....	42
3.3 Keseimbangan Gizi.....	50
3.4 Penggunaan Alat Makan.....	55
3.5 Perubahan Pola Makan Narasumber 1 dan 2.....	55
BAB IV SIMPULAN.....	60
LAMPIRAN DATA.....	ix
SINOPSIS.....	xx
DAFTAR PUSTAKA.....	xxiii
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xxv